

(別紙4(2))

事業所名 すこやかほ～む 有住

作成日: 平成 29 年 3 月 24 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み	会議は地域の代表が参加し、地域の情報を提供して貰い、利用者や職員が参加協力しているが、運営推進会議が、参加委員にとっても知識や情報を得て、役に立つ会議として、参加者が参加したくなる充実した会議に取り組んでいく。	家族の参加を要請し、家族の意見や要望、心配な事等を話し合い、地域と家族と事業所が一丸となって利用者を支えていく体制を築いていく。また、新しい委員を増員し、会議がリフレッシュして、ホームの繁栄に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	5	市町村との連携	運営推進会議に、行政や地域包括支援センター職員が出席し、ホームの現状を理解してもらっているが、ホームの介護力と知識を活かして、行政と協力出来る環境を目指していく。	行政主催の研修会や、行事に参加して連携しているが、行政機関と協働で徘徊模擬訓練や認知症カフェ等に、地域の協力を得て実施し、認知症やグループホームの啓発活動に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。